

# 教育研究業績書

2018年05月14日

所属：看護学科

資格：教授

氏名：川端 京子

研究分野	研究内容のキーワード
看護学	臨床看護、慢性期看護、慢性腎不全、糖尿病合併症、がん化学療法
学位	最終学歴
看護学博士	千葉大学大学院看護学研究科

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. ナースのための透析ハンドブック (改訂4版)	共	2015年7月	医薬ジャーナル	透析に携わる看護職者を対象とした透析治療および看護に関する専門書である。 本人担当部分：「よく受ける質問Q&Aの1)～7)」 (p.188-194) 編者：三木隆己、白井みどり 共著者名：秋澤忠雄、石村栄治、田畑勉、渥美義仁、佐藤久光、堀川直史、川端京子、他36名
2. 疾患理解とケアプランのための看護過程セミナー3	共	2004年3月	医学芸術社	本人担当部分：糖尿病性腎症患者の看護 (p.152-165) 糖尿病性腎症患者の病態生理、情報収集、アセスメントの視点、条件が変わる場合のアセスメントの違い、関連図、看護問題とその根拠、看護計画などに至るプロセスを記載した。 編者：吉沢理 共著者名：中野栄子、川端京子、森菊子、田村文子、石井真紀子、田村綾子、福島裕子 他22名
<b>2 学位論文</b>				
1. 糖尿病性腎症透析患者に対する下肢壊疽予防ケアの開発に関する研究 —炭酸入浴剤を用いて考案した高濃度炭酸泉足浴の下肢皮膚血流促進効果の検証—	単	2006年3月	千葉大学大学院	糖尿病性腎症透析患者の下肢壊疽予防のために、考案した炭酸入浴剤による高濃度炭酸泉足浴が、1) 下肢皮膚血流促進効果を検証し、2) 糖尿病性腎症透析患者自身が簡易でセルフケアできる方法として開発した。
<b>3 学術論文</b>				
1. 癌化学療法による下肢末梢神経障害に対する緩和法の検討—炭酸泉足浴と牛車腎気丸投与の効果—	共	2014年12月	日本フットケア学会雑誌 Vol.12、No.4、p145-150	抗癌剤Paclitaxelは末梢神経障害を高頻度に発症させるため、高濃度炭酸泉足浴または牛車腎気丸の予防投与による末梢神経障害緩和効果を検討した。 川端京子、中野妙子、堤淳子、川尻成美、高島勉
2. 炭酸線浴剤足浴の1ヶ月継続実施効果—tcP02と主観的效果への影響—	単	2009年5月	日本フットケア学会誌 Vol17, No1. p43-48	糖尿病足病変を予防するためのケア開発の基礎研究として、糖尿病性腎症透析患者に炭酸泉浴剤、装置、湯の3種類足浴実施、下肢皮膚血流や皮膚温度を比較し、下肢皮膚血流量を促進する効果を検証する実験を実施した。その結果、炭酸泉浴剤足浴は皮膚血流量増加がみられ、下肢皮膚微小循環改善効果が示唆された

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
3. 糖尿病性腎症透析患者への炭酸泉 浴剤足浴の効果	単	2007年12月	臨床看護  第33巻14号 p. 2153-2159	糖尿病足病変を予防するためのケア開発の基礎研究として、糖尿病性腎症透析患者に炭酸泉浴剤、装置、湯の3種類足浴実施、下肢皮膚血流や皮膚温度を比較し、下肢皮膚血流量を促進する効果を検証する実験を実施した。その結果、炭酸泉浴剤足浴は皮膚血流量増加がみられ、下肢皮膚微小循環改善効果が示唆された。
4. 糖尿病性腎症透析患者における考 案した炭酸泉浴剤足浴の継続性、 セルフケアに関する検証	単	2006年12月	日本腎不全看護学会誌 8巻(2) p. 65-70	糖尿病性腎症透析患者の下肢壊疽を予防するために、考案した炭酸入浴剤を用いた足浴を家で、継続的にセルフケアできる方法であるかを検証した。患者3名に1ヶ月間、毎日、家で考案した炭酸泉浴剤足浴を実施依頼し、足の皮膚状態、足浴実施状況や主観的効果を観察、聞き取り、評価した結果、継続的に簡便な方法でセルフケア可能であり、実施後保温感、関節可動域の拡大、皮膚の潤い感など効果が見られた。
5. 血液透析患者の自己管理行動およ び自己効力感に影響を及ぼす因子	共	1998年8月	日本生理人類学会誌 第3巻3号p. 1-8	透析患者の食事・水分・服薬の自己管理行動や自己効力感に関連する要因を明らかにするために、透析患者144名に質問紙法によって調査した。その結果、有効回答88名において、自己管理行動を促進する要因は第一に透析管理の自己効力感が高いことであった。その他、女性であること、透析知識の点数が低いこと、家族のセルフケアの認知度が高いことであった。 共著者名：川端京子、石田宣子、岡美智代
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 糖尿病患者の足浴の効果—炭酸泉 浴剤足浴と湯足浴の効果の検討—	単	2014年2月	第12回徳島透析フット ケア研究会（ホテルク レメント徳島）	現在の透析患者の下肢潰瘍・壊疽の要因と、科研の研究結果を踏まえて、「糖尿病患者の足浴の効果—炭酸泉浴剤足浴と湯足浴の効果の検討—」の講演を行い、透析の医療関係者にフットケアの重要性とその効果を啓蒙した。
2. 糖尿病性腎症患者の看護	単	2010年11月	第13回日本腎不全看護 学会（福岡国際会議場 ）	第13回日本腎不全看護学会教育セミナー「糖尿病性腎症患者の看護」の講師を依頼され、実践的な援助について講演した。
3. 「人工炭酸入浴剤を用いて作成し た炭酸泉浴剤足浴の継続効果	単	2007年6月	第52回日本透析医学会 学術集会 「糖尿病性 腎症透析患者のフット ケアの現状と効果」の シンポジウム（大阪国 際会議場）	第52回日本透析医学会で、看護介入の視点で、現在までの研究成果「人工炭酸入浴剤を用いて作成した炭酸泉浴剤足浴の継続効果」をシンポジストとして講演し、透析の医療関係者にフットケアの重要性を啓蒙した。
<b>2. 学会発表</b>				
1. 外来化学療法中の患者におけるが ん性疼痛治療に対する満足度の評 価	共	2015年7月	第13回日本臨床腫瘍学 会（札幌市教育文化会 館）	緩和ケアをがん薬物治療早期に実施することで、がん患者の苦痛や不安が軽減し、治療成績が向上することが報告されている。そこで、外来化学療法中のがん患者に質問紙を用いて、疼痛・治療・その満足度を調査し、検討した。 共同発表者：川端京子、吉村成央、中野妙子、堤敦子、工藤貴子、高島勉
2. 外来化学療法中の患者に対するが ん性疼痛と疼痛ケアの検討	共	2014年8月	第52回日本癌治療学会 （パシフィコ横浜）	外来で化学療法を受けているがん患者のがん性疼痛状況や使用している鎮痛剤、生活への影響、疼痛治療の満足度について質問調査を行い、がん性疼痛とそのケアの現状を検討した。 共同発表者：川端京子、吉村成央、中野妙子、堤敦子、工藤貴子、高島勉
3. 牛舎腎気丸または炭酸泉浴による Paclitaxelに関連末梢神経障害の 軽減効果について検討	共	2013年8月	第11回日本臨床腫瘍学 会  （仙台コンベン ションセンター）	乳癌化学療法Paclitaxelによる末梢神経障害を緩和するために、3ヶ月間、牛車腎気丸投与または炭酸泉足浴手浴実施にランダムに割り当て実施し、その効果を比較した。 共同発表者：川端京子、中野妙子、川尻成美、高島勉
4. 糖尿病患者に対する足浴の有用性  —足浴継続実施後の 足部皮膚状況と主観的効果の検討—	共	2012年3月	第10回日本フットケア 学会（大阪国際会議場 ）	糖尿病足病変予防のために、湯足浴当て15名に3ヶ月間セルフケアで継続実施し、両踵部の皮膚症状を比較検討した。共同発表者川端京子、江尻加奈子、中西健史
5. Paclitaxelの末梢神経障害緩和の 検討  — 3ヶ月間牛車腎気丸投与または炭 酸泉浴実施の効果—	共	2012年10月	第50回日本癌治療学会  （横浜パシフ ィコ横浜）	乳癌患者にPaclitaxelの有害事象である末梢神経障害を緩和するために、支持療法として、3ヶ月間、牛車腎気丸投与または炭酸泉足浴手浴実施を、ランダムに割り当て実施し、その効果を比較した。 共同発表者：川端京子、中野妙子、川尻成美、高島勉
6. 糖尿病患者の炭酸泉浴剤足浴と湯 足浴の有用性の比較—3ヶ月間継 続実施の皮膚血流と主観的効果の 比較—	共	2010年12月	第30回日本看護科学学 会  （札幌コンベン	糖尿病患者の足病変予防のために、人工炭酸足浴剤と湯のみの足浴をランダムに割り当て、各15名（計30名）に3ヶ月間、セルフケアで実施し、2次元血流計による足部皮膚血流への影響と主観的効果を比較

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
7. 人工炭酸入浴剤を用いて作成した炭酸泉浴剤足浴の継続効果	共	2007年6月	シオンセンター) 第52回日本透析医学会学術集会 (大阪国際会議場)	検討した。共同発表者：川端京子、正木治恵、江尻加奈子 糖尿病性腎症透析患者下肢壊疽を予防するために、考案した炭酸入浴剤を用いた足浴を、家で継続的にセルフケアできる方法であるかを検証した。 共同発表者：川端京子川端京子、金昌雄、宮崎えみ子
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 塩分チェックシートと、半定量ソルトペーパー法を用いた随時尿中食塩排泄量チェックによるセルフケアモニタリングの減塩の有用性	共	2014年6月	腎疾患研究助成（公益財団法人大阪腎臓バンク）研究代表者	
2. 抗がん剤による末梢神経障害を緩和するケアの開発ーバブ足浴手浴の有用性の検討ー		2010年4月～2013	科学研究費補助金（基盤研究C）研究代表者	
3. 静脈留置針の点滴静脈内注射シミュレータの開発とそのシミュレーション研修システムの確立	共	2010年4月	2009年度池銀コンソーシアム研究開発助成金	
4. 糖尿病性足病変予防のためのバブ足浴の有用性に関するランダム比較対照試験		2007年4月～2009	科学研究費補助金（基盤研究C）（研究代表者）	
5. 糖尿病性腎症透析患者の炭酸入浴剤足浴による下肢壊疽予防ケアの開発		2004年4月～2007	文部省科学研究費補助金（基盤研究C）研究代表者	
6. 糖尿病性腎症患者の透析時温罨法による下肢壊疽予防ケアの開発	単	2000年4月～2003	文部省科学研究費補助金（基盤研究C）研究代表者	
7. 透析患者の透析時の下肢筋痙攣の実態調査と効果の検討		1997年4月	笹川医学医療研究財団助成金（研究代表者）	

学会及び社会における活動等

年月日	事項